

今週の大阪・関西万博 **週報** (12/17~12/23)
～ 開催まで あと **110** 日です! ～



©Expo 2025

1. 参加国の状況

- 12/17(火)、アイルランドパビリオンの建物工事が完了。古代ケルトの渦巻き模様である「トリスケル」をベースにしたパビリオン。3つ渦巻きはそれぞれ国家としてのアイルランド、日本との関係、クリエイティブな協働の精神を表現。



【出典】左 パビリオンイメージ: <https://www.expo2025.or.jp/official-participant/ireland/>

右 パビリオン外観(11月撮影): <https://www.instagram.com/ireland.ie/>



- 12/19(木)、ヨルダンパビリオンの公式マスコットが決定。ヨルダンパビリオンのテーマは「未来を紡ぐ(Weaving Possibilities)」であり、古代から未来まで続く 1万年以上の時の流れを10分間で体験可能。



【出典】左 公式マスコット: <https://www.instagram.com/expo2025jordan/>

右 パビリオンイメージ: <https://www.expo2025jordan.jo/>



□ 12/20(金)、ラテンアメリカ4か国(ブラジル、チリ、ペルー、ウルグアイ)が、博覧会国際事務局(BIE)ホームページで、それぞれのパビリオン外観や展示内容を発表。

- ・ ブラジル： 自然保護、多様性、貧困根絶などに対する包括的・持続可能な取組を紹介
- ・ チリ： 持続可能性、民主主義、多様性の3つの分野に関する没入型体験を提供
- ・ ペルー： 自国の多様性と、それがどのように人類に貢献するかを紹介
- ・ ウルグアイ： 持続可能な開発モデルと多様な文化を紹介



(ブラジル館)



(チリ館)



(ペルー館)



(ウルグアイ館)

【出典】<https://www.bie-paris.org/site/en/latest/infocus/entry/latin-americas-vision-for-the-future-at-expo-2025-osaka-kansai>



2. 今週・先週・先々週以前の主な活動

- 12/23（月）、経済産業省は、日本政府館の「ファクトリーエリア」の展示概要を公表。同エリアでは、日本の伝統と最先端の技術が融合した「循環型ものづくり」の考え方や社会実装の姿をナビゲーターの「ドラえもん」が楽しく、わかりやすく紹介。



©Fujiko-Pro

【出典】 <https://2025-japan-pavilion.go.jp/news/241223/>

- 12/15（日）、日本郵便株式会社近畿支社は、近畿2府4県で2025（令和7）年用年賀状の引き受け開始イベントを開催。
大阪会場（KITTE 大阪）にはミャクミャクも参加。参加した幼稚園児たちは万博のテーマソングにあわせてダンスを披露



【写真提供】: 博覧会協会

【出典】: https://www.post.japanpost.jp/notification/pressrelease/2024/09_kinki/1210_01_01.pdf



□ 12/20（金）、博覧会協会は「フューチャーライフエクスペリエンス」における期間展示&ステージの新たな参加者を公表。

<新規参加企業・団体>

- 大阪・関西万博中部のホンモノ体験出展実行委員会
⇒「中部＝ホンモノの体験ができるエリア」として万博の会場で発信し、VR(仮想現実)やAR(拡張現実)といった新たな技術を活用した新しい旅行体験を提案。
- コモングラウンド・リビングラボ運営委員会
⇒「コモングラウンドによる遠隔空間重畳」とのタイトルで企画内容を制作中。
- 株式会社 Liberaware
⇒実寸大モック/ジオラマ/VR 体験を通して、従来、人が行っていた危険で過酷な点検作業をドローンが代替する未来を見せる、未来の鉄道点検「Project SPARROW」ブースを展開。
- 株式会社レポインターナショナル
⇒循環型社会の実現に向けた最新の研究や製造フローを解説し、廃プラスチックや未利用木質といった廃棄資源から、新たな燃料を生み出す技術を紹介。



【出典】：<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20241220-01/>

□ 12/5（木）、在チリ日本国大使館は JNTO と連携し、チリの旅行会社や関連メディア約 80 名を対象に「観光促進セミナー」を開催。大使館は大阪・関西万博に関するプレゼンテーションを実施し、JNTO は文化・観光等の日本の魅力を発信。



左: 伊藤大使挨拶 右: 大阪・関西万博プレゼンテーションの様子

【写真提供】: 在チリ日本国大使館

- 12/9（月）、韓国・ソウルにて開催された日韓観光ビジネスフォーラムで、嵯川観光庁長官から大阪・関西万博を紹介。翌12/10(火)、韓国・カンヌンにて開催された第38回日韓観光振興協議会では万博コンセプトムービーの放映やパンフレット配布など、万博をPR。また、両イベントで来賓等にミヤクミヤクぬいぐるみを贈呈。



嵯川観光庁長官と
韓国のチャン・ミラン文化体育観光部第二次官
【出典】韓国観光公社



日韓観光振興協議会でのミヤクミヤク贈呈、記念撮影
(左から、チョ・デヨン江陵市議会副議長、中野観光庁国際観光部長、
キム・ジョンフン韓国文化体育観光部観光政策局長、キム・ホンギョ江陵市長、
イ・ハクジュ韓国観光公社国際本部長)
【出典】観光庁

- 先週と今週、内閣官房のEXPOスクールキャラバン事業の一環でテーマ事業プロデューサーが各地で出前授業を実施。

- ・12/17(火)、福島県田村市立都路小学校にて、河森 正治 テーマ事業プロデューサーが授業を実施。生徒たちは日々食べているものが、遡れば他の生物や大地、海等とつながっており、言い換えれば、いのちは合体と変形を繰り返していること、故にいのちに上下関係はないということを学んだ。



- ・12/23(月)、軽井沢町立軽井沢西部小学校にて、大崎 洋 シニアアドバイザーが授業を実施。自分だけの目線で物事を捉えるのではなく、他の人の立場に立って考え、お互いを認め合うことの大切さについて授業。



<今後の予定>

- 12/28(土)～29(日):『想像以上！を、体験だ！まわる！EXPO PLAYPARK』@イオンモール岡山 1階「未来スクエア」

<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20241220-06/>



<公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会のホームページはこちら>

<https://www.expo2025.or.jp/>



3. チケット販売の状況

- ◇ チケット販売枚数 : 744 万 3,561 枚 (2024 年 12 月 18 日現在)